

## 講評

### 001 『満面の笑み』 りんりん

#### <良い点>

しっかり両方の眼にピントが合っていて、マツバギンポの特徴である松葉型の皮弁も分かり、さらに胸鰭や腹鰭も開いていて、余すところなくこの子の生命感が出ています。背景もうまくボカすことができてるのでより存在感が際立ちますね。左下角の前ボケも適量で写真に奥行きを与えるのに効果的です。とてもうまく撮影できていると思います。

#### <改善点>

ほんの少しだけ右の空間が広くやや構図が不安定に感じます。同じ縦横比で右と上を少しトリミングしてあげると良いかなと思いました。

### 002 『シースルー』 ひろし

#### <良い点>

カエルアンコウの眼はピントが合わせにくく、合っていたとしても合っていないように見えなかったりするんですが、この子は一目見ただけでもガチピンできているのが分かり、力強い生命感が伝わってきました。露出も良くオレンジが繊細に表現できていますし、砂の白も美しく出ています。

#### <改善点>

真横からの撮影なのに口元のディテールがボケすぎていて眼の存在感と比べると弱すぎて少し違和感を感じます。ボケていても良いのですがもう少し絞ってある程度のディテールを出してあげた方が違和感なくこの子の存在を感じられたかなと思いました。前ボケの葉が少しやかましく色味もくすんでいるように感じますので、もう少し入れる量を減らし色味も明るい感じにしてあげると良かったかなと思いました。

### 003 『新天地へGO!』 ひろし

#### <良い点>

眼にしっかりピントを合わすことができているだけでなく、アオサハギの特徴である角のような第一背鰭だけでなく、透明の第二背鰭と尻鰭がしっかり開いていて、さらにこの子がよくやる尾鰭を曲げる状態でシャッターを切れているので、この子らしさが120%出せていると思います。背景を全てボカせたことでよりこの瞬間が際立ちますね。構図も安定しています。

#### <改善点>

ボディの明るさに比べ口元が暗いのが気になります。ストロボの角度や光量の問題でしょうか？他が良いだけに余計に目立ってしまいます。現像で改善できそうならぜひやってみてください。ここが改善できていれば僕の中では準グランプリ候補でした。

004 『こっちだよお〜』 ひろし

<良い点>

ピントが眼に来ているだけでなく、色トビしそうな白をギリギリの露出で表現できていて、かつ海のブルーも美しいですね。

<改善点>

やはり背景が気になります。特に左上のゴチャゴチャした部分は視線が持っていかれてしまいますね。またあえて進行方向とは逆に空間を持たせたことは悪くないとは思いますが、そこに意図は感じられませんがやや広すぎて視線が迷ってしまう気がするのでもう少し狭くても良いかなと思いました。縦横比を4:3に変えて左8分の1くらいと下を切り取ってみてはどうでしょうか。

005 『小さなロマン』 ひろし

<良い点>

良い意味で「砂」を感じます。主役の花や背景の緑に積もった砂、水中を舞っている砂など、良い露出で表現できているからこそですね。構図のバランスもとても良くしみじみとした世界観を感じました。

<改善点>

この写真は花を見せると言うよりは、花の印象だけでは弱いので、写真内の状況を風景的に見せる方が効果的だと思います。なのでもっとたくさんの砂の玉ボケを作ってみたりすると面白い作品に仕上がるかなと思いました。

006 『わたしのお家』 ひろし

<良い点>

眼にピントが合っているだけでなく、この子の特徴である立派な触角を対角線に配置し、鋭もしっかり写し込むことで甲殻類らしさが全面に出せていますね。前ボケ後ボケの量も適量でボケ味も良く、背景をイソギンチャクだけで構成できているので視線も迷わず、露出もベストで白の美しさや透明感もキレイに表現できています。かなり完成度の高い作品だと思いました。

<改善点>

写真の完成度はとても高いのですが、まるでポーズを作ってポートレートを撮っているようで野生生物らしい生命感が伝わりにくいかなと感じました。例えば捕食している瞬間とか、何か生態的なシーンをこの完成度で撮れていれば写真にグッと重みが出るかなと思います。

007 『ここにいるよ^^』 ひろし

<良い点>

眼にしっかりピントが合っていて、露出もやや白トビしてますが許容範囲だし、何よりこのシチュエーションで気になるイソギンチャクの影がないのが良いですね。落ち着いて見ていられます。この子の角度も良く胸鰭の動きも躍動感があってとても生命感が出ていると思いました。

<改善点>

少し右上の前ボケがやかましく視線が迷ってしまいますね。この子の配置場所は悪くないと思うので同じ縦横比で上下左右を少しだけトリミングしてあげると良いかなと思いました。

008 『ここから先は通せへんで!』 ひろし

<良い点>

巣穴からしっかり出てきている瞬間を真正面から捉えられているので、力強い生命感が出ているだけでなく背景のボケ味もしっかり出せていますね。主役を写真中心ではなくやや左にずらしたことで、色の濃い緑の部分と右の白い部分のバランスもうまく取れています。

<改善点>

小さい画面では分からないですが、大きい画面で見るとややブレているような感じがしますしピントも気持ち手前にきている気がします。あとはできれば背景のディテールがもう少し弱い方が、より主役に視線がしっかり注がれるかなと思いました。

009 『永遠の一瞬』 りんりん

<良い点>

前ボケの使い方が絶妙ですね。この子のなんとも言えない表情をうまく引き立てていると思います。もちろん眼にもしっかりピントが合っていますし、背景全体を白で構成できている点も素敵だなと思いました。

<改善点>

ほんの少しですが全体的に暗くて印象が弱いかと思います。思い切り明るくする必要はないですしそうしてしまうと印象がガラッと変わってしまうと思うので、この印象の良さをより引き出せる程度に少しだけ明るくしてあげると良いかなと思いました。あとは右の空間がやや広く若干構図が不安定かなと感じますので、同じ縦横比で少しだけ右と上下をトリミングしてみてくださいはどうか。

010 『おっばいとクマノミちゃん』 りんりん

<良い点>

構図が素晴らしいですね。この子のサイズ感が分かる切り取り方ができていますし、右に変化のある空間を広く配置できているおかげで、この小さい生命が一生懸命生きている様子が伝わってきました。生命の重さを感じられる良い作品だと思います。

<改善点>

この子の黒い部分をもう少し明るくして、より表情が伝わるようにしてあげると良いかと思います。また全体の彩度も少しだけ上げて（やりすぎないように気をつけながら）、この世界の色をしっかり感じさせるようにすることで、より印象が強くなるかなと思いました。

011◎ 『桜色の妖精』 りんりん

<良い点>

二つの対角線をとともうまく使えているのがこの作品の最も素晴らしいところです。左上から右下の対角線上に真上から捉えてしっかり眼にピントを合わせた主役を配置し、同時に住んでいる場所も同じ角度で入れられています。そして今度は左下から右上にかけての対角線上に、黒抜きからの白、そして両眼を通りまた白、極めつけは最後にディテールを出したトサカのポリプ&黒抜きと、計算し尽くされた対角線構図がこの写真をととも奥深いものにしてています。素晴らしい作品ですね。

<改善点>

これと言った大きな改善点は見当たりません。さらにいろんな表現方法を極めていただければと思います。

012 『イワシがみんなでぐるぐるまわる』 瑛太

<良い点>

前ボケと後ボケをしっかりと作ることによって群れの迫力がとても出ていますね。前ボケが暗く奥が明るいおかげでより遠近感も感じられますし、奥に視線が届きます。スローシャッターの効果で躍動感もあって良いと思いました。

<改善点>

カメラの性能的な問題なのか解像度がやや低くノイズも少し気になります。もしかするとガラス越しに撮っているからかも知れません。また左右端に写ってしまっている窓？はトリミングしてあげた方が水族館とは言え海らしさが出ると思いました。

013 『平衡感覚』 miyabi

<良い点>

背景をしっかり入れてこの子の小ささを表現できていますね。その背景の色味も良くこの子が引き立っていると思います。表情の伝わりにくいウミウシですが撮影角度が良いので愛らしさをとても感じます。

<改善点>

所々にある白い部分の色トビが気になって、視線が持っていかががちになってしまいます。しっかり抑えてあげましょう。カメラをうまく固定できていなかったのかピントも少し甘くブレも感じますのでそれなればもっと主役の存在感がで出たかなと思いました。

014 『初春』 miyabi

<良い点> 同系色の背景でまとめられていて、進行方向に広めの空間も取れているので、落ち着いて見られる一枚になっています。撮影角度も良く被写体に立体感が出ていますね。

<改善点>

ピントが甘いのが気になります。眼が小さすぎて合わせにくいと思いますし、ボケ味を考えるともう少し絞っても問題なさそうなので、絞って被写界深度を深くしてあげると良いかなと思いました。

015 『無限の可能性』 はるか

<良い点>

極小の眼にうまくピントを合わせられているので、生命感が強く感じられます。目線の先に空間を広く取れているだけでなく、左右の空間にしっかり変化があるので、まるで今から左の方に旅立とうとしているような雰囲気が感じられました。

<改善点>

少しノイズが出ているのと、いくつかのゴミが気になりますね。眼の周りの白トビももう少し抑えた方が良かったかなと思いました。どれも現像処理で改善できる点だと思いますのでぜひやってみてくださいませ。

016 『一期一会』 はるか

<良い点>

優しい背景で色味の強い小さい被写体を包み込むことで、全体のバランスがとてうまく取れていて主役の存在感も強すぎず弱すぎずちょうど良く感じさせてくれます。

<改善点>

眼のピントが甘いのとやや色トビしているせいで、じっと見続けていると少ししんどくなってきて しまいます。しっかりガチピンさせること、眼の黄色の色トビをちゃんと抑えることにもう少し気を配りましょう。右端に写っている丸い物体に視線が奪われがちになるので、その部分はいれないようにトリミングしてあげると良いかと思います。

017 『うわ〜! ×シンクロ』 IKU

<良い点>

2匹を写し込むことでいろんな物語が想像できて楽しいですね。2匹とも良い表情をしているのも素敵だなと思いました。

<改善点>

難しいチャレンジですが、2匹ともこちらを向いてくれているので、どちらの子の眼にもピントを合わせてもらいたかったですね。より生命感が出せたかなと思います。左右の空間を均等にする必要はないですが、左の子のさらに左の空間が狭すぎて窮屈さを感じるのも、もう少し広ければ良かったかなと思いました。あとは右の暗い部分が重たく感じますので、その部分にもしっかりと光を当てて撮影できていれば良かったですね。

018 『むにっーピッターよ』 IKU

<良い点>

イソギンチャクに挟まれてしまったようなシチュエーションがたまらなくカワイイですね。しっかり真正面から捉えられているのでなんとも言えない表情も伝わってきました。

<改善点>

向かって右側の目の周りが暗く、目が分かりにくいのが残念です。暗部を持ち上げるなどして目をしっかり伝えるようにしましょう。下の空間が広すぎると右上のごちゃごちゃした部分が気になるので、同じ縦横比で下と右を少しトリミングしてあげると構図も安定しますし、視線も迷わないかと思います。

019 『なに?』 IKU

<良い点>

こちらを恐る恐る伺っているような表情がしっかり感じられて、この子にとっても愛着が湧いてしまう。そんな素敵な一枚ですね。良いタイミングで撮影できていると思いました。

<改善点>

ピントが甘いのが残念ですね。しっかり眼にガチピンできていればよりこの子の生命感が出たと思います。またカメラの性能の部分が大きいとは思いますが、解像度が低く写真全体がザラついているのも気になりました。あとは右端が暗いので編集などでしっかり持ち上げてあげたいですね。

020 『オッパイ溢れる世界で』 IKU

<良い点>

目の黒い部分にしっかりピントが合わせられていて生命感が強く出せています。対角線上に見切れるくらい大きく写し込みつつ、大きな缺をしっかりと見せ、また尾もさりげなく入れられているので存在感が抜群ですね。そしてイソギンチャクの触手の先端のピンクが主役を引き立てるとても良いアクセントになっています。

<改善点>

全体的にやや青被りしていて色味が弱く感じる事、アンダー部がやや暗いことで、大きく切り取った割に写真全体の印象が弱く思います。しっかり色味を出してアンダー部を少し持ち上げると良いでしょう。輝度も少しあげても良いかもしれません。

021◎ 『ビッグママとおちびちゃん』 ten

<良い点>

迷うことなく主役の眼に視線が注がれるのは眼にピントが合っているだけでなく、背景を含め適正な明るさと色味が表現できているからだと思いました。そしてその後ゆっくり周りを見渡すと、主役の存在に少しビビっているようなおチビたちの存在に気づき、とてもストーリー性のある作品だなと思いました。

<改善点>

おチビたちの位置が端すぎてちょっと窮屈なのが気になりますね。ただおそらくおチビたちはこれ以上主役には近づけないと思うので、もう少しだけ引いておチビたちの外側に少しでも空間を取れていたら、よりまとまりのある作品になったかなと思いました。

0022◎ 『アマモの精』 ten

<良い点>

ライティングが難しくすぐに色トビしてしまうイカの眼をとてもうまく表現できているだけでなく、イカのボディや背景に至るまでそれぞれの明るさが適正で素直に見ることができました。素晴らしい露出に仕上がっていると思います。ピントもバッチリですね。

<改善点>

下の空間が少なく窮屈さを感じました。ご存じかどうか分かりませんがこのイカ（ヒメイカ）は背中に吸着器があって海藻などにくっついて過ごしているので、そこも見てもらうためにもイカ全体の位置が今よりもう少し上で、反時計回りに画像を少し回転させると良かったかなと思いました。

023 『やあ、竹野へようこそ！』 ten

<良い点>

極小のダンゴウオを良い角度で捉えられているので、立体感も出ていてディールもよくわかりますね。露出がとても良く、繊細な白やオレンジ色がしっかり出せています。

<改善点>

ストロボの角度のせいでもあるし、この子の眼の向きにもよるのですが、眼の印象が弱くその分生命感が伝わりにくいのが残念ですね。もう少し黒眼が見えると良かったかなと思いました。構図は悪くないですし空間もうまく使えていると思いますが、左端のごちゃごちゃなど少し気になるところもあるし、眼の印象が弱いのを少しでも改善するためもう少しだけ周りを切り取っても良かったかなと思いました。

024 『Keep your head up』 ten

<良い点>

とても合わせにくい黒眼にしっかりピントが合わせられているのが素晴らしいですね。露出もとても良く気になる白トビもないですし、主役の色味もしっかり出せていて小さいながらも力強い存在感を放っていて素敵です。

<改善点>

おそらく見たままの角度で撮影しているのでこのような構図になったのだと思いますが、この子の存在すら見たことのない方からすると、単純に構図の不安定さから違和感を感じる方もいると思うので、全体を反時計回りに30~45°くらい回転させて、進行方向に空間をしっかり持たせたようなトリミングをして見せた方が良かったかなと思いました。

025 『スキマの対面』 はるか

<良い点>

正面顔の眼にしっかりピントを合わせられているので生命感がしっかり伝わり、かつ口も少し開いた状態でシャッターをきっていて、愛くるしい表情がすごく出ていてとても素敵ですね。ライティングが難しい環境でうまく光も回せていると思います。

<改善点>

暗部が少し気になり視線が引っ張られてしまうので、現像処理でもっと明るくしてあげると良いかと思います。また左に比べて右の前ボケが少しやかましく感じるので、同じ縦横比のまま上と右を少し切り取っても良いかなと思いました。

026 『ひよこっ』 はるか

<良い点>

やや向こうを向いたこの子の向きに対し、右下の前ボケがから始まり緑から再び白になる後ボケがとても効果的で、しっかり奥行きを感じる写真に仕上がっていますね。周りの空間量もよくとても安定感のある構図になっています。

<改善点>

白トビが気になりますね。視線が持っていかれてしまうのでしっかり抑えてあげましょう。あとは写真下部のゴミがやや気になるのでしっかり取り除いてあげましょう。

027 『待ってたよ♥』 Kana

<良い点>

隠れているところをしっかりとこっちを見ている瞬間でシャッターを切れているので、表情も伝わって来て良いですね。眼にもピントが合っているので生命感も出ています。

<改善点>

下の空間がやや広すぎて構図に不安定さを少し感じます。同じ縦横比であれば下を少しとその分左右を均等にトリミングしてあげると良いでしょう。向かって右の眼がもう少し見えていればより存在感が出て良かったかなと思いました。

028 『春陽』 ten

<良い点>

眼のブルーがとても美しいですね。良いライティングができていたと思いました。ピントと露出がバッチリなので、じっくり落ち着いて見ることができます。

<改善点>

下の空間が少し狭いところ、左のトサカが端にありすぎるところにやや窮屈さを感じます。また右の空間は逆にもう少し狭くても良かったかなと思いました。微妙な構図のバランスで見え方が全然違って来ますのでそこをもっと意識してもらえればと思います。

029 『群舞』 ten

<良い点>

透明感のある密集度の高い群れを暗い背景で写すことで、一匹一匹の存在感をしっかりと出せているだけでなく、真横からではなくやや角度を付けてさらに左に海を入れることで奥行きもしっかり出せています。

<改善点>

全体的に青被りしてしまっていて、本来の色味からかけ離れてしまっていますね。人工光源をしっかりと使って自然な色味を出してあげましょう。左下から出ている泡は余計でしたね。泡のないタイミングでシャッターを切れば良かったと思います。

030 『自信满满』 ten

<良い点>

下からのアングルにすることでこの子の躍動感が出ていて良いですね。露出も良くて繊細なディテールが感じられます。ピントも触角にしっかりと合わせられていて生合わせられていて生命感が出ています。

<改善点>

進行方向に対し右の空間が少し狭く、若干窮屈さを感じます。広げることができないならその分左を少しだけトリミングしても良いかもしれません。あとは少しだけ写っているもう片方の触角がもう少しだけ見えているとより存在感が増すかなと思いました。

031 『神秘の花』 ten

<良い点>

透明感のある被写体をとてもうまく撮影できています。ライティングと露出が素晴らしい証拠ですね。ピントもうまく合わせられていると思います。

<改善点>

背景の色が微妙な感じがするので、もっと美しいブルーかそれが無理なら黒抜きにしても面白いかなと思いました。あとは右の空間がやや広いかなという気がするので、同じ縦横ひで右と上を少し切り取ってみてはどうでしょうか？

032 『ループ』 Kei

<良い点>

逆さまになっている個体を良いライティングで撮影できていますね。被写体の向きも良くアカヤギの入れ方も上手で、背景もきっちり抜けているので構図に非常に安定感を感じます。

<改善点>

ちょっと光量が強かったかなと思います。眼の周りなどが色トビしていますし、ボディの透明感も弱いですね。右上角の暗部も少し気になるので周辺光量を調節してみても良いかもしれません。

033 『サンゴに隠れて』 Kei

<良い点>

エスカを出している瞬間を真横からとらえることでこの子の特徴がしっかり出せていますね。またそれ以外を前ボケで覆うことで見てもらいたい部分だけをうまく見せることができていると思います。ピントや露出も問題ありません。

<改善点>

右上角の色味が強すぎて視線が持っていかがちになってしまいますね。また左に写っている縦に伸びた棒状の背景もなくとも良かったかなと思うので、同じ縦横比で全体的にもう少しトリミングしても良かったかなと思いました。あとはもう少し絞ってエスカのディテールもしっかり出してあげた方がより生命感が増したかなと思います。

034 『シルキーハウス』 Kei

<良い点>

前ボケ後ボケを使って見せたい部分だけをしっかり見せることができます。露出も色トビしないギリギリの明るさに調節できているので存在感が際立っています。ピントもバッチリでキャッチアイが素敵ですね。

<改善点>

右に写っているピントが合っている部分は不要でしたね。視線が分散してしまいます。被写体の向きから考えて同じ縦横比で右と下をトリミングしてあげると、より主役に視線が注がれるようになるかなと思いました。

035 『目覚め』 Sachi

<良い点>

合わせにくいヤドカリの眼にしっかりピントを合わせられているだけでなく、両方の触角の角度も良くてディテールもしっかり感じられます。露出もバッチリで構図も安定していて前ボケもうまく使えていますね。完成度の高い作品に仕上がっていると思いました。

<改善点> ピントの合っていない方の眼のディテールが弱いせいか、今一つ生命感が弱い印象を受けました。絞りをもう少し絞ってあげると良かったかなと思います。

036 『わあっ！ティンカーベルみたい』 宙美

<良い点>

難易度の高い泳いでいるウミコチヨウを、ちゃんと羽？が開いている瞬間でシャッターが切れていますね。黒抜きにしたことで視線も定まり、躍動感のあふれる一枚になっていると思います。

<改善点>

黒抜きにして視線を定めたのであれば、もっともっと主役の生命感を出す必要があるかと思います。ゴミが写っていたり、奥の羽？に光が当たっていなかったり、マイナスポイントを一切感じさせないように撮ってあげないといけません。ボケ味もこの見せ方的にはマイナスになったりしますので思いきり絞っての撮影でも良かったかなと思います。

037◎ (準グランプリ) 『御洒落に撮ってね』 宙美

<良い点>

いろんな方向に開いている状況をとてうまく写せたことで、写真のどこを見ても元気さが感じられるような、伝わってくるものがとても大きいと感じる作品です。撮影角度が良いのは言うまでもなく、色トビぎりぎりの明るい露出にできたのが良い結果を生んだのだと思います。準グランプリおめでとうございます。

<改善点> もう少し被写体のディテールが出せていれば、より生命感が感じられたかなと思うので、いろんな絞り値で撮影してみてそれらを見比べながら、ディテールとボケ味とのバランスがベストなのを選び抜くことができれば良かったかなと思いました。

038 『虹色の交わり』 SARU

<良い点>

そのままとやかましく見せたくない背景の色味を失くし、見てもらいたい被写体の美しさだけを出す。2匹の交わり方のタイミングやピントもうまく合わせられているのもさることながら、編集技術がなければこの作品は成立しなかったと思います。素敵な一枚ですね。

<改善点>

背景を少し黒くしすぎてしまったせいか、逆に視線が持っていかれてしまってる部分もあると思います。やってみないとわかりませんがシンプルに背景の彩度を下げる程度でたのかも知れません。あとは編集のしすぎなのかノイズも気になりますね。方法は一つではないと思うので、何度も現像処理をしてみてより完成度を高めてみてください。

039 『暑中お見舞申しあげます』 SARU

<良い点>

正面顔をしっかりと捉えつつ、日の丸構図にしないことと周りの空間量が適量なことで構図に安定をもたらしてくれています。ややアンダー目の背景もこの子の繊細なディテールを感じられる要因になっていて良いと思いました。絞り具合も良く口元のディテールがよく分り生命感が強く感じられます。

<改善点>

向かって左の眼のピントが甘いのが勿体無いですね。せっかく正面で捉えられているのでここは両眼にガチピンが鉄則です。あとはノイズが少し気になりました。

040◎ (グランプリ) 『マイホーム見学』 SARU

<良い点>

触角のピントの合わせ方が素晴らしいですね。ボディの白いラインも色トビさせず優しい白が感じられます。視線の先に写真の大部分を埋める大きなブルーでこの世界の広さを表現しつつ、赤が非常に良いアクセントとなって空間を埋めてくれています。グランプリおめでとうございます。

<改善点>

特に改善点はないと思いますが、僕ならもう少しだけ背景の青の部分を明るく見せるかなと思いました。明るい未来に向かって進んでいる印象が出せるように…

041 『ダイナミックみなべ』 SARU

<良い点>

群れと地形、さらに海も写しこむことでダイナミックな環境がしっかり伝わって来ますね。露出も良く明部と暗部のバランスが取れていると思います。

<改善点>

ストロボの当たっていないところは全然構わないんですが、ストロボが当たっている部分まで青被りしてしまっていて色味が弱いのが残念ですね。もう少し魚たちの色味が出ていれば良かったかなと思いました。

0042◎ 『光へ』 SARU

<良い点>

華やかな水中世界をしっかりと画角の中に収めることができている。ストロボをしっかり使い色味も出せていますし、ハーレムを作るキングヨハナダイの生態も感じられて、地球本来の美しさが伝わる良い作品だと思いました。

<改善点>

左下の暗部、左上の白トビ、右下の歪みなど、じっくり見ていると四角が少し気になってしまうので、同じ縦横比で少しだけ上下左右をトリミングしてあげると良かったかなと思いました。あとはもう少し全体の暗部を持ち上げて良いかもですね。